

経営者による説明 公開草案の概要

2021年10月

開始前に

本ウェブセミナーで示される見解は発表者の個人的な見解であり、必ずしも国際会計基準審議会（IASB）あるいはIFRS財団の見解を示すものではありません。

アジェンダ

はじめに

公開草案における提案

A grayscale world map is the background of the slide. Overlaid on the map are several thick, curved, light-gray lines that sweep across the continents. Additionally, there are several dotted lines that form a grid-like pattern across the map, intersecting the curved lines.

はじめに

経営者による説明とは何か

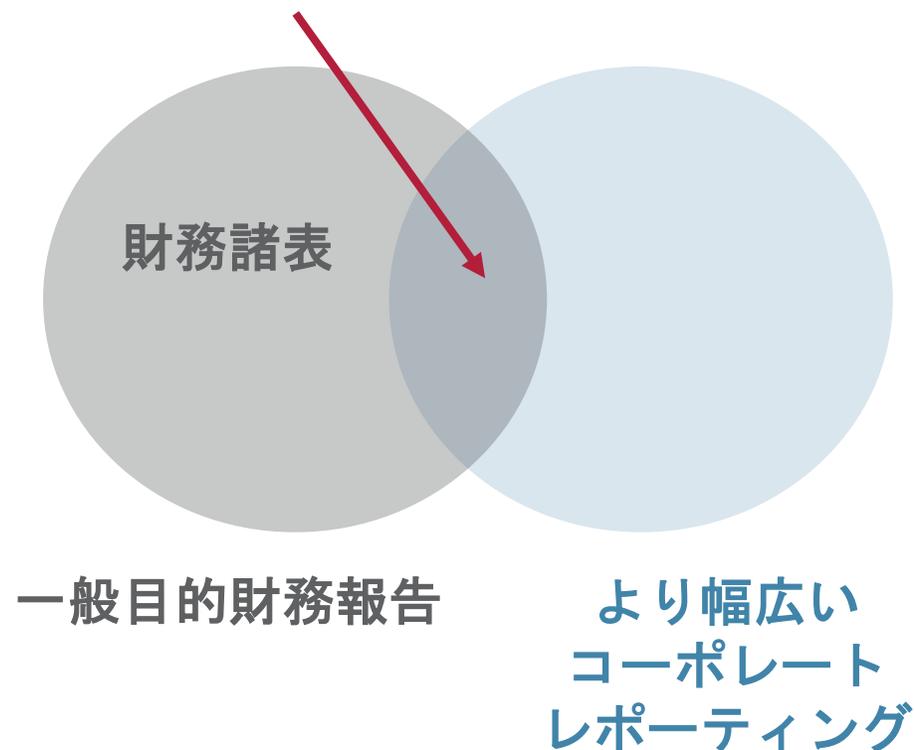


財務報告書

- 財務諸表を補完
- 企業が価値を創出しキャッシュ・フローを生み出す能力についての洞察を提供
- 投資者及び債権者が対象
- より幅広い利害関係者に有用な可能性があるが、そうした利害関係者は対象としていない

IFRS実務記述書第1号
「経営者による説明」

経営者による説明



IASBはなぜ当該プロジェクトを行っているのか



記述的報告の進展

- 「企業価値」及び「価値創出」の概念
- 無形資産を含む、資源及び関係への焦点
- サステナビリティ報告の進展



情報ニーズの変化

以下に関する情報に対する需要の増加：

- 長期的な見通し
- 無形資産
- 環境・社会・ガバナンス（ESG）事項



現在の報告実務におけるギャップ

- 一般的な情報が多過ぎる
- 企業の見通しにとって重要な事項に関する焦点の欠如
- 短期的な焦点
- 断片化
- バランスの欠如

IASBは何を達成することが目的なのか

投資者及び債権者の情報ニーズに焦点を当てた包括的なフレームワーク

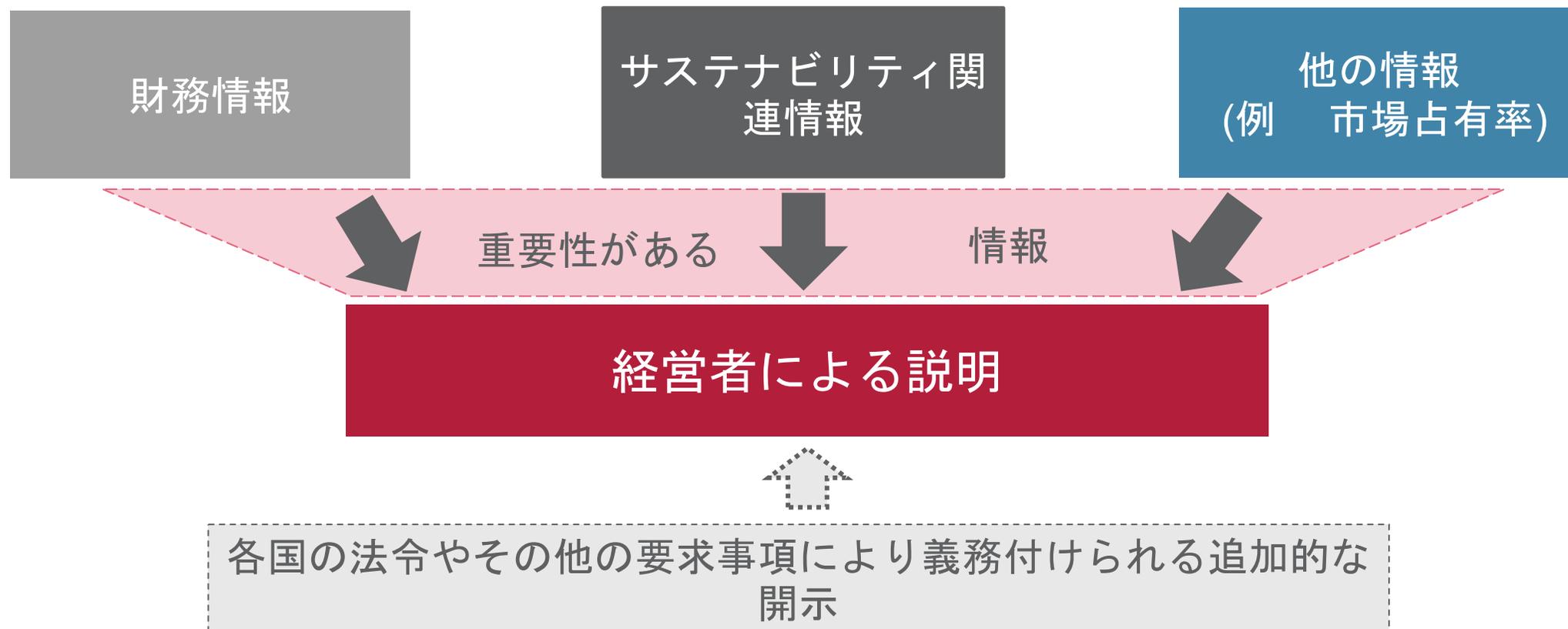
有用な経営者による説明を作成するための有効な基礎を提供する

- 企業の長期的な見通しに不可欠な事項に焦点を当てて説明するための柔軟性
- 準拠性を評価するための厳格性

記述的報告に革新を取り入れ、報告実務のギャップに対処する

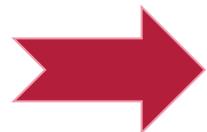
国内の法令やその他の記述的報告の要求事項とともに適用することができる

結合性の焦点

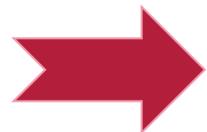


提案された新しい国際サステナビリティ基準審議会が必要とする情報に対する報告チャネルの提供が可能

誰が新たなフレームワークを適用するのか



各国の立法者及び規制当局が遵守を要求することを決定する可能性



企業は、要求されなくても準拠を選択する可能性



以下の場合でも、企業の財務諸表はIFRS基準に準拠することができる。

- 経営者による説明が付属していない場合
- 実務記述書に準拠しない経営者による説明が付属している場合



準拠の旨の記述

無限定

- 要求事項のすべてに準拠している

限定付き

- 要求事項の一部（しかし全部ではない）に準拠している
 - 離脱を識別し、当該離脱の理由を示す



公開草案における提案

目的ベースのアプローチ

経営者による説明の目的

内容領域の開示目的

主たる目的

評価目的

具体的目的

情報の選択及び表示

長期的な見通し、無形資産、ESG

内容領域

- 事業モデル
- 戦略
- 資源及び関係
- リスク
- 外部環境
- 財務業績及び財政状態

主要事項に焦点を当てる

開示目的: 事業モデル例

開示目的

事業モデル

主たる目的

投資者及び債権者が以下を理解できるようにする:

- 企業の事業モデルがどのように価値を創出しキャッシュ・フローを生み出すのか

評価目的

なぜ

投資者及び債権者が以下のことを評価するための十分な基礎を提供する:

- 企業の事業モデルが、どれだけ有効であるか
- どれだけ拡張可能性及び適応可能性があるのか
- どれだけ弾力性及び持続性があるのか

具体的目的

何を

投資者及び債権者が以下のことを理解できるようにする:

- 企業の営業の範囲、性質及び規模
- 価値創出及びキャッシュ・フロー生成のサイクル
- 企業の活動の環境及び社会への影響
- 企業の事業モデルの管理における進捗度



公開草案の第11章では、すべての内容領域の開示目的を要約している

重要性及び主要事項に焦点を当てる

作成企業が重要性がある情報を識別するのに役立てるために提案されたツール

主要事項

企業が価値を創出しキャッシュ・フローを生み出す能力に不可欠である（長期を含む）

経営者がモニターし管理している可能性が高い

広がりがあり複数の内容領域に関連している可能性が高い



投資者及び債権者にとって重要性がある情報の多く（全てではない）は、主要事項に関するものとなる

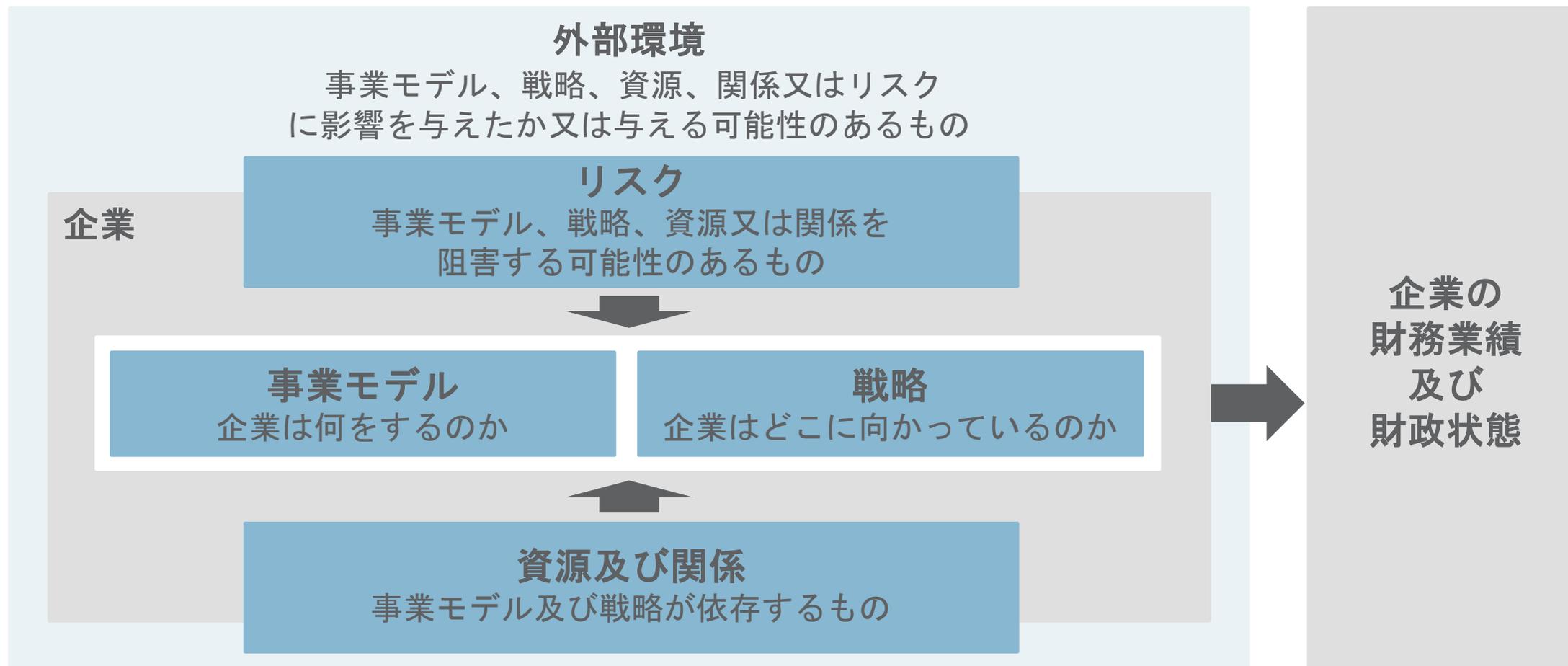
その他

- 開示目的及び重要性がある可能性のある情報の例
- 情報に重要性があるという兆候
- 集約に関するガイダンス
- 不確実な将来事象に関するガイダンス

内容領域間の関係



企業に関する財務、サステナビリティ及びその他の重要性がある情報



長期的な見通し、無形資産及びESG

企業により異なる影響を与える → 経営者による説明において説明することが必要となる



専用の付録

- 以下に関する情報を提供するにあたり考慮する要求事項及びガイダンスの概要：
 - 企業の長期的な見通しに影響を与える可能性のある事項
 - 無形の資源及び関係
 - 環境的及び社会的事項
- 記述している事実パターンにおける適用例

投資者及び債権者にとって重要性があれば、情報は報告される



その他サステナビリティのフレームワーク:

- 重要性がある可能性のある情報を識別しやすくする
- 重要性がある情報を覆い隠さない場合には、それらのフレームワークによって特定されたその他の情報も含まれる

有用な情報の属性

完全性

バランス

正確性

明瞭性及び簡潔性

比較可能性

検証可能性



一体性

概念フレームワークに基づく

単純化された専門用語

いくつかの追加的なガイダンス

- 経営者による説明の中で
- 企業の報告書全体で

指標

企業固有

- 重要性がある情報には、経営者が以下に使用する指標が含まれる可能性が高い
 - 主要事項のモニター
 - 当該事項の管理における進捗度の測定
- 企業の活動及び営業している業種に依存する

公開草案の提案

それぞれの内容領域について、指標の例

事業モデルの指標は以下と関連する可能性がある

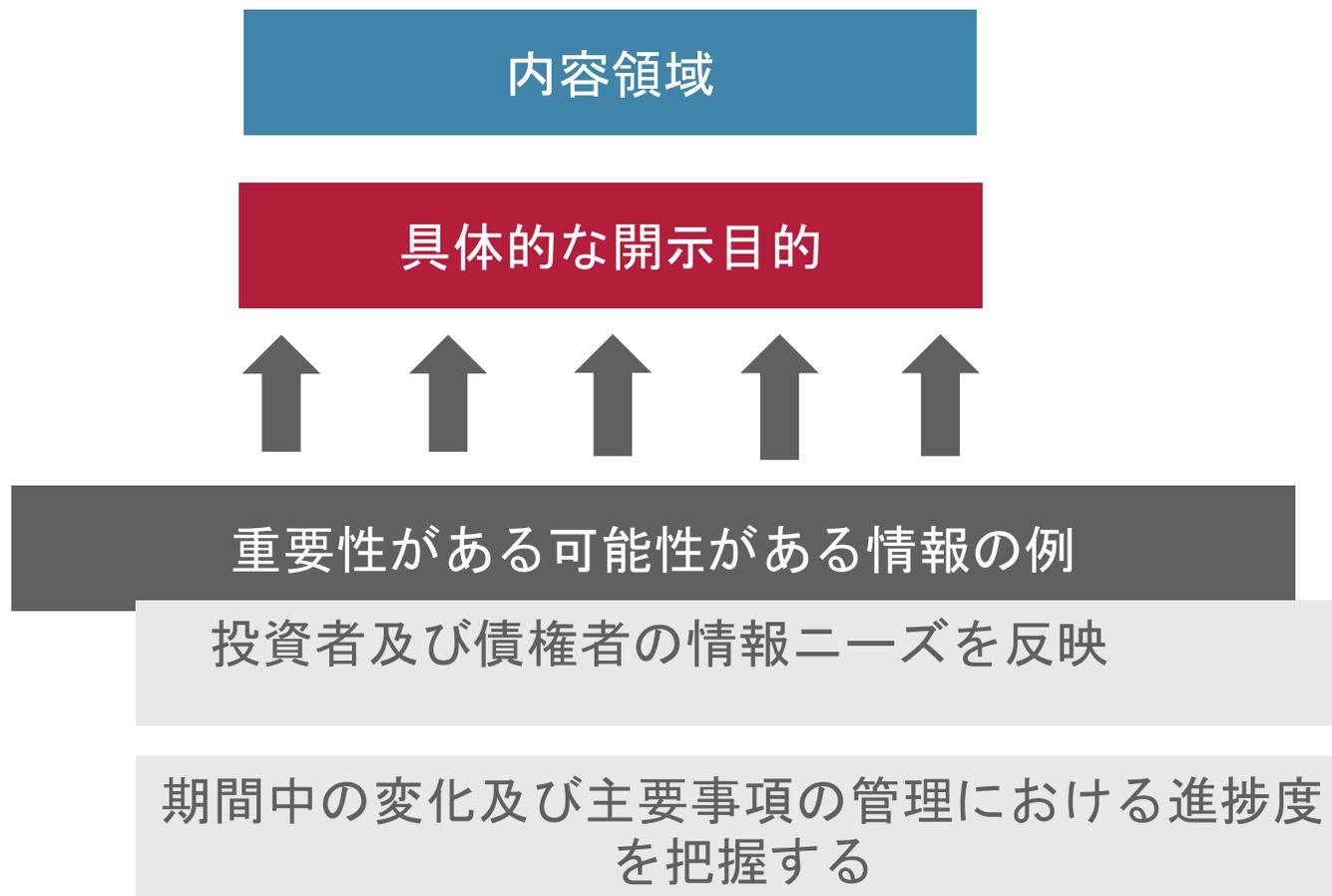
- 企業の営業の規模
- 当該営業に要するインプット
- 企業の活動の環境又は社会への影響
- 企業の活動の環境又は社会への影響が企業に与える影響

指標に関する要求事項

以下に関連する:

- 明瞭性及び正確性
- 比較可能性
- 一体性

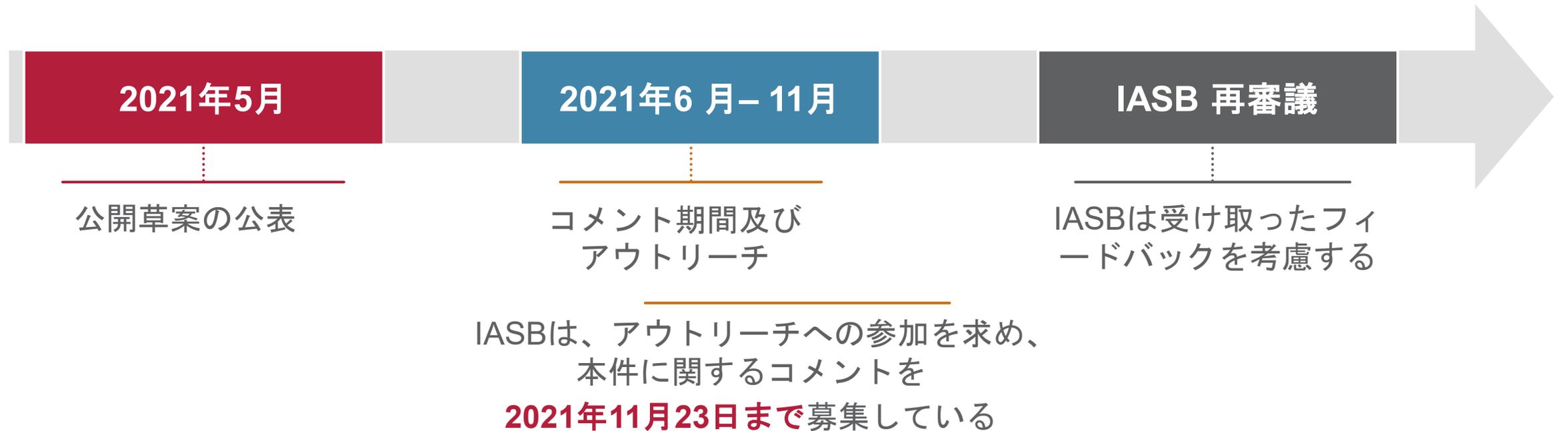
重要性がある情報の例



経営者は判断を適用する必要がある:

- 企業の状況において重要性がある情報か
- 開示目的を満たすために他の情報が必要か

次のステップ



- プロジェクトの情報 <https://www.ifrs.org/projects/work-plan/management-commentary/>
- 本公開草案 [here](#)
- 本公開草案を要約したスナップショット [here](#)

Find us online



www.ifrs.org



IFRS Foundation | International Accounting Standards Board



@IFRSFoundation



IFRS Foundation



IFRS Foundation

Join our team: go.ifrs.org/careers